

創立者出身地への学生派遣プログラム 2014

東京・明治大学での事前学習（3 地域共通プログラム）

派遣学生への事前説明会及びグループワーク（6月13日）

プログラムの趣旨についての説明がなされた後、学生たちは、参加地域ごとに分かれてのガイダンスに臨みました。ガイダンスには、鳥取県・山形県天童市・福井県鯖江市から担当者をお招きしており、各自治体の特長・課題点等についてのレクチャーを受けました。

レクチャー終了後には、学生たちはグループワークを開始。6月下旬に控える現地事前調査（天童市・鯖江市のみ実施）に向け、興味を持ったことや現地で確認すべきことについて賑やかに意見を交わしました。



著作権研修・ファシリテーション研修（8月1日・2日）

学生派遣プログラムでは、現地の自治体職員、地場産業に携わる人々など地域住民との交流・調査・取材を通し「地域活性化への提言」を行います。

今村哲也情報コミュニケーション学部准教授による著作権研修では、現地調査終了後に取り組む成果報告書作成に必要な基本的な著作権に関する知識について学習しました。成果報告書の作成に際しては、調査・取材活動に応じてくださる方々の協力のもと、多くの資料を参考とするとともに、写真等の掲載も行います。これに関与してくる著作権や肖像権などについて、参加学生自身が自覚し、適切な対応を取ることができるようになるため、2014年度から新た導入した研修内容です。

また、源由理子グローバル・ガバナンス研究科教授を講師に行った *ファシリテーション研修では、8月上旬から始まるフィールドワークに向け、議論の進め方やコミュニケーションの取り方などについて、ワークショップを交えて学びました。

*「ファシリテーション」とは、

ものごとが円滑に進行するよう促す行為・技術・方法。会議等のマネジメント技法として用いられる。

